



2001年03月22日

フォルクスワーゲン パサート 米国で“ベスト チョイス オブ ザ イヤー”に輝く！

さる3月19日(月)、フォルクスワーゲンAG(本社:ドイツ連邦共和国、ウォルフスブルグ)は、フォルクスワーゲンの最高級モデルであるパサートが、アメリカを代表する消費者レポートマガジン、『コンシューマー レポート』誌の“ベスト チョイス オブ ザ イヤー”にノミネートされ、最終的に「ファミリー サルーンおよびワゴン部門」において、“トップピック2001”に選出された。と発表しました。

今回、フォルクスワーゲン パサートを“トップ ピック2001”に選んだ『コンシューマー レポート』誌は、アメリカを代表する独立系の消費者雑誌であり、1936年より各種製品の客観的なテストを実施してきた非営利団体、“コンシューマーズ ユニオン(CU:消費者連合会)”が発行母体となっています。このCUの主な活動は、ニューヨークにおいて“世界最大の非営利テスト研究機関”と自認する“全米テスト&研究センター”で実施される試験結果を、直接消費者に公開することを目的としています。またこの団体の活動資金の一切は、広告収入とは関係なく発行される『コンシューマー レポート』誌の販売や、政府あるいは非営利団体からの献金によってまかなわれています。

同誌によるパサートの選定理由は、「フォルクスワーゲン パサートは、4気筒モデル及びV型6気筒モデルのセダン、ワゴン共に、明らかにナンバーワンと言えるでしょう。」と伝え、さらに「俊敏さと快適性を両立しているほか、非常にマナーの良い走行安定性を持ちあわせている。特にパサートワゴンに関しては、他の同じクラスのクルマと比較しても、非常に大きなラゲージルームをほこっている。」と、高い評価をあたえています。

現在パサートは、先程のジュネーブショーで発表されたこのクラスでは初めてとなる、最新かつ斬新な“W型8気筒エンジン”を搭載した、フォルクスワーゲンの新しいフラッグシップモデル「パサートW8(ダブリュ エイト)」を頂点とするラインナップが完成、ドイツ近隣諸国および、日本、米国などの主要マーケットに輸出されています。(W8に関しては、今年の後半からヨーロッパ市場より導入が開始される予定)またヨーロッパ各国においてパサートは、「同クラスにおける最も成功したクルマ」と評されるほか、好調が続く北米市場においても、ニュービートル以来の爆発的なフォルクスワーゲンの認知度向上も奏功して、多くのお客様に受け入れられています。

フォルクスワーゲンはこうしたセダンの成功が、現在取り組んでいるフォルクスワーゲン初の大型高級セダン「D1(仮称)」に向けた、フォルクスワーゲン ブランド及び製品に対するお客様の厚い信頼と強い支持であることを信じ、またここ日本においては、「期待を超える何かがある -フォルクスワーゲン-」というスローガンのもと、現在展開しているブランド キャンペーンを通して、更なる変革のメッセージをお伝えしていきたいと考えています。

なお、先般発表されたパサートクラス初のW型8気筒エンジン搭載モデル“パサートW8”の写真は、VWプレスクラブ <http://www.vwj.co.jp/press> よりダウンロードしてご利用下さい。また初めてご利用の方は、恐れ入りますがプレスクラブへ登録して下さいませお願いいたします。